

2016年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文学部	身分	教授
氏名	古賀 正義		
NAME	Masayoshi KOGA		

1. 研究課題

(和文) 困難を有する若者にとっての「ソーシャルスキル」認識

(英文) What is "Social Skill" that At Risk Youth Need to Get in Their Life Course ?

2. 研究期間

2年間 (2016-2017年度)

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度)

(和文) 主に高校中退者やひきこもり、非行などを経験した困難を有する若者に関して、その困難の性格と援助のあり方について調査研究を実施し、彼らにとって必要な「ソーシャルスキル」形成の方法論を検討した。従来の研究が概してアンケート調査によるマクロデータの解析を中心としてきたのに対して、聞き取りや支援現場の観察などを交えた質的方法から当事者・関係者（若者自身や保護者、教師など）の視点に立った分析を試みた。その結果、以下のような論文や著書などを、特定課題研究の経費を活用しつつ、執筆・発表することができた。

- ①「学校と子ども・若者支援」『教育社会学のフロンティア2 変容する社会と教育のゆくえ』岩波書店 (2018.03)
 - ①『ひきこもりと家族の社会学』世界思想社 (2018.01) (石川良子と共編著)
 - ②「高校中退者問題と貧困格差」『月刊高校教育』平成 29 年 8 月号、学事出版 (2017.07)
 - ③「学校空間における排除と差別」『排除と差別の社会学』有斐閣 (2016.09)
 - ④「定時制高校における中退問題の実証的分析—補償と排除の間で—」『教育学論集』第 59 集 (2017.03)
 - ⑤「生きづらさを抱える青少年とその家族への支援」『青少年育成支援読本』(2016.11)
 - ⑥「日々の活動で取り組む生徒指導」『中等教育資料』平成 29 年 1 月号 (2016.12)
- 加えて、若者（中高生）の社会情動的スキル育成の方法についても、調査から多くの示唆をえることができた。

(英文)

What is "Social Skill" that at risk youth need to get? In Japan many youth with the social diversity and poverty came to be removed, such as high school dropout. Through they experience in community, they must be grading up some social skills to get over difficulty. But by my research several youth fail with no support of home and the workplace, school and cannot participate community. That is very important and risky problem.